

2024 年度
Art Compass
(アートコンパス)
活動報告

目次：

1. はじめに
2. アートコミュニティ
 - ① みんなのアート広場
 - ② みんなのアート基礎講座
 - ③ みんなのアート工房
 - ④ みんなのアートプロジェクト
 - ⑤ 出張アートコンパス
 - 実穀ふれあい体験フェスタ
 - 個別アート支援事業
3. 2025年度の計画

1. はじめに

<感謝>

2024年はアートコンパスの設立から10年の節目にあたり、これまでを振り返ってみると「あつという間だった」というのが本当に正直な気持ちと、「10年間続けることが出来た！」というある種の達成感と自信を得ることが出来ました。しかし周りの社会や世の中を見渡すと10年という月日はまだまだ始まったばかりとも言え、この先のまた5年、10年、20年を見据え、初心に帰り、私自身のライフワークとしてこの地域でアートコミュニティ活動を続けていきたいと改めて思いました。

この短くも長い間、たくさんの参加者や関係者の皆さんとの出会いがあり（10年間の総参加者数は1,138人）、それまでの独りだけでのアート制作では決して味わうことのできなかったたくさんの楽しい時間と学びがそこにあり、また同時にアートコンパスというアートコミュニティが地域に支えられ成長し、子どもから大人までのアットホームな居場所として続けられたことに対し、この場をお借りしまして心より感謝を申し上げます。

<今年の大きな出来事と気づき>

その中で今年度は大きな出来事と気づきがそれぞれ一つずつありました。先ずコロナ禍で延期となっていた参加者が主体となった「みんなのアート展」の開催。そしてその過程で10年間の大きな振り返りと、今後の大まかな指針を組み立てることが出来たこと。

そしてもう一つは自分でも全く予想していなかった気づきがありました。それはアートコンパスで実践してみたかった企画を自分が関わる他の場所で行うことが出来たこと。つまり、アートコンパスという枠にこだわらず、それ以外の私に関わる場において、子ども達を対象にアートな学びの居場所を創出することが出来たこと。それに加え人材の育成という観点から、私のこれまでの経験のノウハウをその場に関わるスタッフにも伝え共有することが出来たこと。

アートコンパスは私自身の大切な居場所でもあり、コミュニティ活動そのものの原点でもあります。その中で実現してみたい楽しいアートを想像し、そこから周囲へと伝えていくことが出来るまさしく実験的なアート発信工房とも言えるかもしれません。

<今後の活動について>

活動当初に打ち立てた15か年計画を見ると、これまでの10年間は「基礎」と「応用」の期間であり、2025年から「実践」の活動が始まります。別な言い方をすると、これまでの経験を糧に、地域の課題解決を強く意識した活動を行っていきたいと思っています。特に子ども達を中心とした地域の課題：教育全般の課題、発達特性、居場所、格差問題等について専念していきたいと考えています。

加えて、ここ数年間の活動状況を客観的に見つめ直したとき、私一人で出来る様々な活

動にも限界があり、平日の仕事や寺子屋あみ、作家活動を含むこれらのワークバランスの修正が必要だと感じました。そこで2025年度から当面の間はアートコミュニティプログラム（みんなのアート広場・みんなのアート基礎講座・みんなのアート工房・みんなのアートプロジェクト）の開催を、月2回から月1回へと変更しようと思います。但し出張アートコンパスはそのまま継続し、むしろこの活動が引き続き社会課題の具体的な解決につながっていくと考えています。繰り返しますが全ての中心はアートコミュニティプログラムであり、ここから生み出され、考え出され、創造されることが、地域の課題に直結していくと強く思っています。

そしてこの中心の活動（＝サードプレイス）において、常に参加者の声や要望を聞き取り、アートプログラムへと柔軟に反映させ、一人ひとりの自己肯定感や「生きがい」が育まれていくこと。そして強いては参加者の皆さん一人ひとりの「多様な幸せのかたち」へとつながっていく活動になっていきたいという結論に至りました。

今の不確定な世の中に流されず、じっくりと真を見極め、牛歩の如くゆっくりとしたペースで活動を進めてまいります。今後ともアートコンパスを宜しくお願い致します。そして4月にまたお会いできることを心より楽しみにしております。

<2025年～活動コンセプト>

アフターコロナで感じたこと

①【当面の課題】

- ・アートコミュニティの再開を最優先に！
- ・参加者が自分のペースで自由に楽しみ、様々な人たちと直接出会い、アートな体験を共有していきたい気持ちを大切に。
- ・2025年3月現在、コロナも終息する。

②【専用の拠点づくり】

- ・公共施設（国）の判断で利用できず、思うように活動が出来なかった。
- ・一方、民間企業は独自のルールに則り、独自に活動を再開。
- ・自分の場所・拠点をもちたいという思いが徐々に強くなっていった。実現すれば、自由度が上がり活動内容の幅がかなり広がる。

③【社会課題】

- ・そして第三世代に入り、参加者の利用層にも変化がみられるようになってきた。
- ・それは社会課題となっている不登校、発達特性、他、様々な背景を持つ子どもたちが初期の頃よりも増えてきた印象をもつ。
- ・コロナをはじめ、不確定な時代の中で、何が本当の幸せなのか？「ウェルビーイング（幸福）」について考え始める。

2025年～地域社会の課題にコミットしていく！

子供を中心とした

- ・教育の課題（公教育・不登校・他）
- ・発達特性
- ・居場所（サードプレイス）
- ・格差問題（貧困・教育・体験・他）

根本的な原因は、偏り過ぎた？資本主義（二元論）
私達の考え方やマインド、価値観の切り替えが必要？

これまでの**教育**（先生が児童・生徒を教える）

- 最大の目標：戦後、国の建て直しと経済発展の為
- 産業主義社会（大量生産・大量消費）
- 一部の経営者層と労働者
- 公教育＝画一化
- 決められた知識・情報・技術を受動的に吸収



これからの**学び**（先生が児童・生徒を支援する）

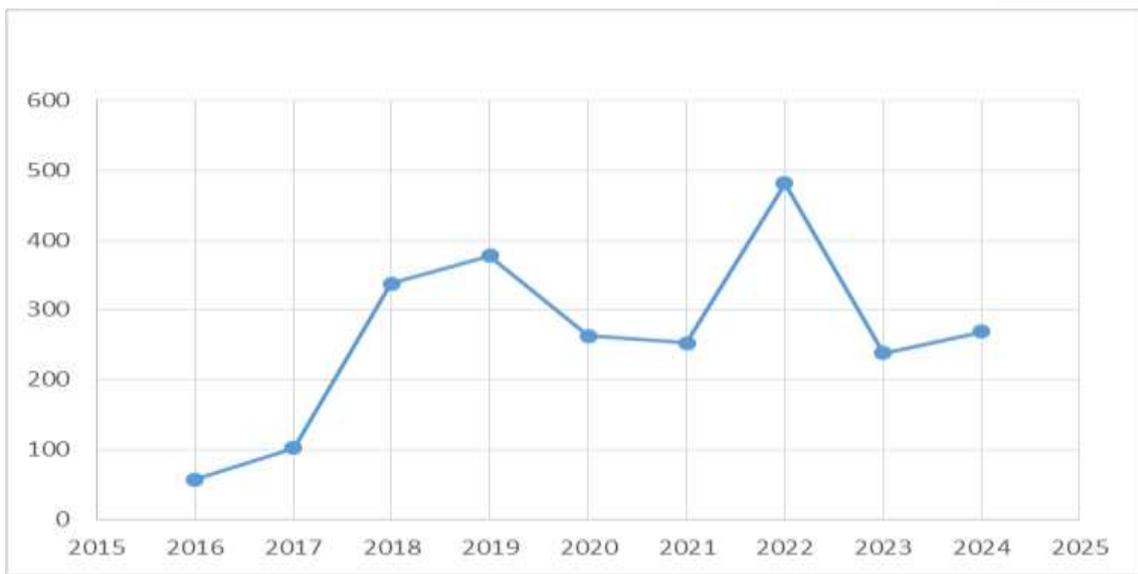
- 最大の目標：国民一人ひとりが「生きがい」をもって幸せに生きていく
- 「生きがい」とは何か？
- 4つの要因：「好きなこと」「得意なこと」「社会の課題」「お金をかせぐこと」
- 「好きなこと」と「得意なこと」を見つけ育むために学ぶこと

「好きなこと」と「得意なこと（強み）」を育てていくためには、個々の年齢の発達具合に適した感性と知性を相乗効果的に学んでいく多様な場が必要となっていく？

アートコンパスは「生きがい」のこの2つの要因に、アートの学びを通して強くコミットしていくことが可能！

<2024 年度・参加者数一覧>

2024年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	参加者総数
みんなのアート広場	16	13	12	0	7	12	7			10	9		86	2016 57
みんなのアート基礎講座	16		9	15	19	17		3					79	2017 102
みんなのアート工房													0	2018 338
みんなのアートプロジェクト		24						15	40				79	2019 378
個別アート支援	2	2		2	1	2	2						11	2020 263
実穀ふれあい体験フェスタ								14					14	2021 253
													合計 269	2022 482
														2023 238
														2024 269
														計 1138



年間参加者総数



みんなのアート展 @実穀ふれあいセンター (2024.11.24)

2. アートコミュニティ

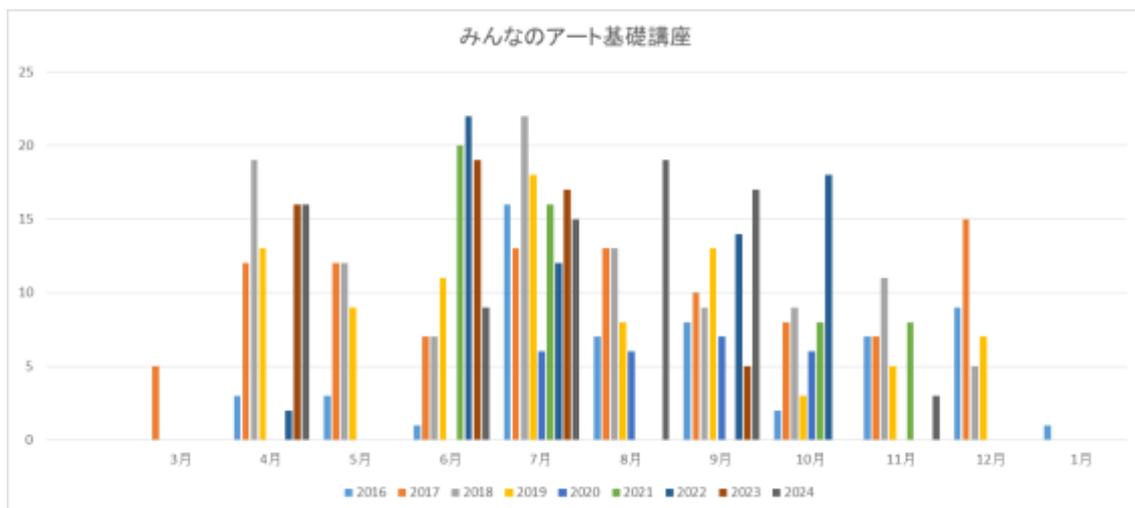
① みんなのアート広場

みんなのアート広場	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	計	
2018年	15	4	19	23	11	7	8	16				103	
2019年	21		4	17	24	10	5					81	
2020年				7	15	18	9	5				54	
2021年	7	3	5	2			4	18	19			58	
2022年	3	16	16	19	11	19	11	14		15	13	137	
2023年	15	11	11	20	15	8	16	7			9	119	
2024年	16	13	12	0	7	12	7			10	9	86	
												合計	638



② みんなのアート基礎講座

2024年度		テーマ	内容	分野	学習範囲
①	4月28日	偶然と連想の世界！	フロッターージュ	造形操作	テクスチャー
②	6月23日	新聞動物	塑像	造形操作	素材・量感・空間
③	7月28日	ピンホールカメラ	写真・工作	ファインアート	光学
④	8月11日	抽象絵画	絵画	ファインアート	感情・心とからだ
⑤	9月22日	洞窟壁画を学ぼう！	スクラッチアート	ドローイング	線・形・色彩
⑥	11月10日	ピカソ風の自画像	版画	ファインアート	複写・複製



みんなのアート基礎講座	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計
2016		3	3	1	16	7	8	2	7		1	57
2017	5		12	7	13	13	10	8	7	15		102
2018		19	12	7	22	13	9	9	11	5		107
2019		13	9	11	18	8	13	3	5	7		87
2020					6	6	7	6				25
2021				20	16			8	8			52
2022		2		22	12		14	18				68
2023		16		19	17		5					57
2024		16		9	15	19	17		3			79

③ みんなのアートプロジェクト

<2024年度>

「秘密基地ピクニック 2024」

- 日時：5月12日（日）10：00～14：00
- 会場：高崎自然の森（つくば市）
- 参加者：計24名（子ども：14名＋大人10名）

「みんなのアート展」

- 日時：11月24日（日）12：00～17：00
- 会場：実穀ふれあいセンター・会議室
- 参加者数：計15名

「ランタンアートをつくろう！」

- 日時：12月7日（土）13：30～16：00
- 会場：吉原交流センター・多目的室
- 参加者数：計11名

- 日時：12月8日（日）13：30～16：00
- 会場：実穀ふれあいセンター・会議室
- 参加者数：計11名

「つくばランタンアート」

- 日時：12月14日（土）15日（日）16：30～19：30
- 会場：つくばセンター地区（つくば市）
- 参加者数：計15名（14日：9名+15日：6名）

④ 出張アートコンパス

● 実穀ふれあい体験フェスタ

「影絵で遊ぼう！」

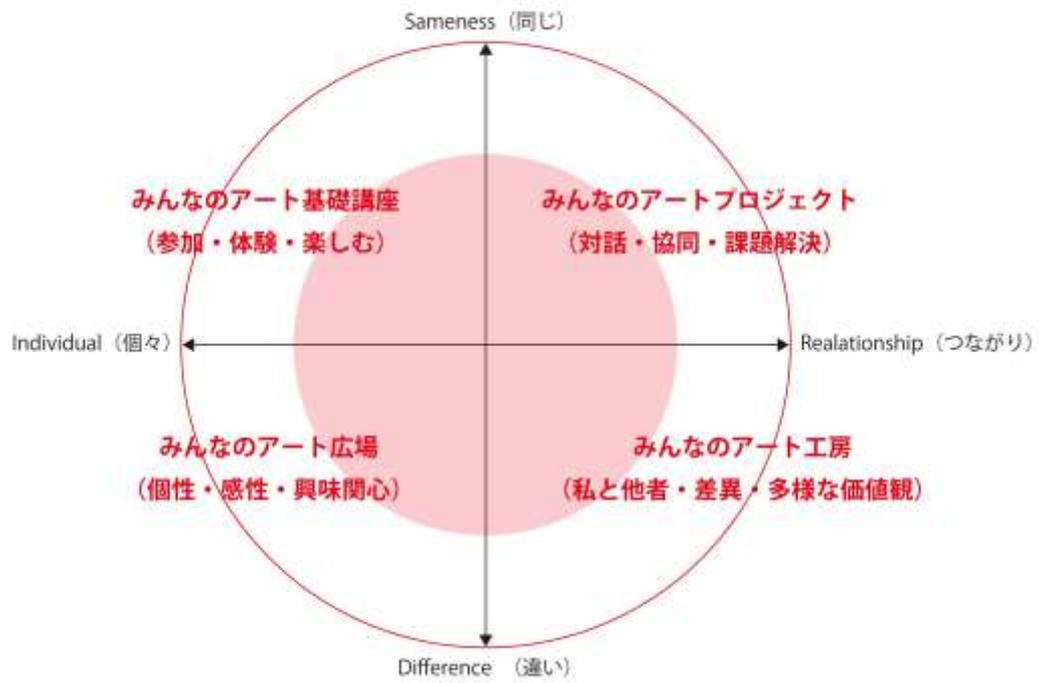
- 日時：11月17日（日）10：00～12：00
- 会場：実穀ふれあいセンター・多目的室2
- 参加者：計14名（児童：7名+大人：4名+ボランティア：3名）
- 主催：実穀ふれあいセンター

● 個別アート支援事業

個別アート支援	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2020年								1		1	1		3
2021年		1	1				1	1		1	1	1	7
2022年	1	1		1		1	1			1	1	1	8
2023年	1			1		1	1	1	1	1	1	1	9
2024年	2	2		2	1	1	2						10
												合計	37

2020年11月からスタートした個別アート支援は現在も継続中です。（他者との対話や大勢の参加者が集まる場で創作活動をするのが苦手な小学6年生の女児を対象。今年度から小学5年生男児も参加）指導内容は基本的にお子さんと保護者様からの要望である絵画や立体制作をベースに行っています。

- 日時：毎月1回程度（10：00～12：00）
- 会場：お子さんのご自宅（筑西市）



インクルーシブ アート コミュニティ構想 2025

2025年3月23日

Art Compass